



児玉市長は「これまでの着実な準備と機運の醸成が実を結んだ結果。大きな前進であり、世界遺産登録まで全力で取り組みを続ける」と意気込みを語りました。

世界遺産の推薦枠は、1国1件に限定されていることから、今後は、自然遺産推薦候補の「奄美大島 徳之島 沖縄島北部および西表島」と、どちらを国内推薦にするかを審査されることとなります。

最初の審査を通過 世界文化遺産推薦候補に

7月19日に開催された国の文化審議会世界文化遺産部会において、本市の大環状列石を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が、今年度の世界文化遺産への推薦候補に選定されました。



鮮やかに彩る 湯瀬神社先祓舞

市無形民俗文化財「湯瀬神社先祓舞」が7月15日～16日に行われました。

先祓とは神輿の先導にあたり祓いを行うことの意味で、15日夕方から始まった宵宮では、神明社の境内で、袖に鈴を付けた衣装できらびやかに着飾った踊り手が輪になり、太鼓や笛の音に合わせ伝統の舞を披露し、迫力のある動きで境内に集まった観客を魅了しました。16日、先祓舞の一行は湯瀬温泉内を巡りました。華麗な舞は湯瀬温泉郷を彩り、湯瀬ホテル前で行われた演舞にはたくさんのお客が集まり、その美しさに目を奪われていました。



地域の防災を担う 鹿角支部消防訓練大会

7月1日、市役所駐車場を会場に第70回秋田県消防協会鹿角支部訓練大会が開催されました。大会には、本市と小坂町の消防団員約1千人が参加し、日頃の訓練の成果を披露しました。

- ◆各部門の優勝
- 規律訓練 市第6分団
- 小型ポンプ操法 町第4分団
- ポンプ車操法 市第5分団第1部
- 総合 尾去沢地区団



月山神社例大祭 地域に元気と活力

毛馬内総鎮守としてまつられている、月山神社の祭典が7月12日～13日に開催されました。

子どもたちが法被を身にまとい、各町内ごとに趣向を凝らした樽みこしを担いで歩く「子ども樽みこし」では、あいにくの雨模様となりましたが、子どもたちの「わっしょい、わっしょい」と元気な掛け声が毛馬内のまちを盛り上げました。



人権擁護委員 感謝状と委嘱状を交付

人権擁護委員を長年務め、6月末で任期満了となった米田優子さん（花輪）、山口京子さん（十和田）、法務大臣から感謝状が贈られました。米田さんは15年、山口さんは12年の長きにわたり活動されてきました。

また、新たな人権擁護委員に、関真澄さん（花輪）、小館洋子さん（十和田）が委嘱されました。

現在、本市では9人の人権擁護委員が悩みのある方の相談や人権を守るために必要な助言などの活動を行っています。



写真右：感謝状を受け取る米田さん（左から2人目）と山口さん（左から3人目）
写真左：委嘱状を受け取る関さん（右）と小館さん（中央）
本市の人権擁護委員
八幡平：安倍憲孝さん／佐々木忠臣さん／尾去沢：工藤トモ子さん／花輪：青山武夫さん／瀬川悦子さん／関真澄さん／十和田：木下フサさん／沢田正さん／小館洋子さん

草木の伝説を後世に むがしっこの集い

「八郎太郎伝説」や「佐多六とシロ」など、草木地区が舞台となる伝説や民話を語り継ぐこと、児童が語り部となり昔語りを披露する集いが7月11日、草木小学校で開催され、地域の方など約100人が集まりました。来年度閉校が予定されている草木小学校の児童に地域の伝説を伝えていきたいと開催されたこの会で、児童らは方言巧みに語りあげ、会場からは大きな拍手が送られていました。



建設業の担い手確保へ 女性職員の交流会

7月13日、ホテル鹿角で建設業に従事する女性職員の交流会が開催され、市内企業などから25人の女性が参加しました。

県内雇用の約1割を占める、主要な産業でありながら、若者や女性の就業者数が少ないことから、鹿角地域振興局建設部の主催で開催されました。

県内の建設業協会が初めて女性部を作った平鹿地域の事例紹介や、現状の問題点を考えるグループディスカッションなどが行われ、参加者同士のつながりを作る良い機会となりました。

